

## 第5回 理事会議事録

議事録作成者：理事 沖浦耕治

- 1 日 時：平成31年3月9日（土）14時～18時
- 2 場 所：J国際学園ビル（大阪市）6階教室
- 3 出席者：【理事】 佐々木健治 古城資久 石本直樹 三浦重則 安楽友宏  
大森 了 中田和夫 沖浦耕治（敬称略、順不同）  
理事総数9名中、8名出席（所用のため伊差川理事欠席）  
【監事】 安原 徹（敬称略）  
監事総数2名中、1名出席（所用のため辻監事欠席）  
【陪席】 善本光彦 松谷昌典 立岡謙次（敬称略、順不同）

### 4 開 会

代表理事佐々木健治から、出席理事9名中8名、監事同席により本会は有効に成立するとの宣言があり、定刻通り議題の審議に入った。

### 5 議 事

#### 5. 1 第1号議案 2019年度事業計画案

石本副会長より、2019年度事業計画案について説明がなされた。

新たに「決意と方針」を加え、新年度の運営方針を記した事業計画案は、審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

#### 5. 2 第2号議案 2019年度収支予算案

松谷事務局長より、2019年度収支予算案について説明がなされた。

原案は各委員長より提出された部門別の予算書を基に作成されたものであり、公益総研を経由して電子申請することとなった。公益総研提出後の勘定科目再仕分など微細な調整については佐々木代表理事に一任することとなった。

2019年度収支予算案は出席理事全員一致で承認された。

#### 5. 3 第3号議案 各専門委員会人事の件

佐々木代表理事より、JPA各専門委員会の人事について提議がなされた。

・就任（順不同、敬称略）

広報副委員長 奥谷元哉

財務委員長 善本光彦

技術委員 加納勉、小笠剛志、可児暢也、善本弥生

国際大会招致委員 沖浦耕治

事務局 沖光典、窓場加津紗

・退任

財務委員長沖浦克治（2月19日付辞任）

各専門委員会名簿は、審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

5. 4 第4号議案 アンチ・ドーピング教育・啓発活動年間計画

佐々木代表理事より、アンチ・ドーピング教育・啓発活動年間計画について説明がなされた。アンチ・ドーピング講習会の有効期間は現行2年であるが、JADAから須藤氏になされた指導によると、2年スパンでは長く1年に短縮することを検討する提案であった。結果は、継続審議となった。

5. 5 第5号議案 日本スポーツフェアネス推進機構への加盟

松谷事務局長より、日本スポーツフェアネス推進機構への加盟について説明がなされた。競技団体および検査機関から分離された新機構であり、必要な資金確保も一元的に行われる。ドーピング検査は新機構からJADAへ依頼される。新機構への加盟金は、100万円であり、これは過年度JADAへ支払ったドーピング検査の自費分相当である。

審議の結果、出席理事全員一致で日本スポーツフェアネス推進機構に加盟することとなった。

5. 6 第6号議案 国際大会メディアカル実施方法について

三浦常務より、国際大会メディアカル実施方法について説明と提案があった。

問診票の送付先は、JPA事務局とすること、問診票の有効期間は年1回とすること、選手のみならず審判・コーチなども問診票の提出義務を課すこと、実施は本年6月の世界クラシック大会申し込み分からとすることで議決した。なお、今後関連の規程類の見直しを行う。

5. 7 第7号議案 各規程類の改訂等の件

石本副会長より、規程類について説明及び改訂、廃止、制定について提議があり、別紙のごとく承認された。

改訂された規程類を以下に示す。

- ・選手及び所属団体登録規程
- ・加盟団体規程
- ・国際大会日本選手団派遣規程
- ・国際大会日本選手団役員の派遣費支給基準
- ・国際大会実働報告書兼派遣費支給基準
- ・国際大会実働報告書兼派遣費請求書（書式）
- ・国際大会へ派遣する日本選手団の役員選考基準
- ・公認審判員規程
- ・審判講習会、公認審判員試験等に関する細則
- ・2級、3級昇級試験の実施届け出書（書式2件）
- ・1級、2級、3級昇級試験の合格通知書（書式3件）
- ・JPA全日本大会開催マニュアル
- ・ブロック大会、地方大会開催マニュアル
- ・全国ブロック連絡協議会の活動等に関するガイドブック
- ・賞罰規程
- ・ドーピング防止規程

新たに制定された規程類を以下に示す。

- ・ホームページへの情報掲載に関するルール
- ・2級審判員昇級試験、3級公認審判員試験の実施報告書（2件）

尚、「審判講習会、公認審判員試験等に関する細則」の改訂に伴って廃止された規程類を以下に示す。

- ・1級公認審判員昇級試験の実施届け出書（書式）
- ・1級公認審判員昇級試験の推薦届出書（書式）

また、技術委員会通達2件について承認された。

#### 5. 8 第8号議案 公認器具の取り扱いについて

古城専務より、スポンサー契約の終了した公認器具の使用可能期間について提議があった。

公式大会等においては、JPAとスポンサー契約を交わしているメーカー製造の器具を使用されているが、契約が終了した場合、直ちに器具の使用を不可とすると、大会開催に困難がでる。一方、大会開催の利便性を追求し、契約終了後も器具を使用可能とした場合、スポンサー契約の意義が損なわれてしまう。そのため、公式器具については、契約終了後の公式大会に使用できる期間を設けるべきである。

そこで古城専務より、その期間を5年にしてはどうかという提案があり審議した結果、各県協会の公認器具の保有状況などを調査して、結論を出すこととし継続審議となった。

#### 5. 9 その他議案

- (1) 沖浦理事より、次回の倫理委員会は本年4月6日（土）に京都で開催されることについて報告があった。倫理委員会の審議の内容は、「JPAの公金を流用した件」「社員総会の会場で、正当な理由なく正会員の入場を拒否した件」であり、次回理事会において答申するとの説明があり承認された。
- (2) 松谷事務局長より、つくば市で開催されたジャパンクラシックパワー大会のフロアシートのクリーニング代金請求事案について説明がなされた。炭酸マグネシウムの汚れ洗浄についての請求で、請求価格が適正か否か調査を行い、つくば市の国体推進課と交渉を重ねた。審議の結果、出席理事全員一致で支払いを承認した。
- (3) 古城専務より、日本国内で行う国際大会については、Wエントリーは不可とするとの提議があり、審議の結果承認された。
- (4) 松谷事務局長より、電子決裁システム導入の説明がなされた。承認された予算を執行する際、各委員長は必ず経理責任者に決裁を取るよう指示がなされ、出席理事全員一致で承認された。
- (5) 松谷事務局長より、選手登録においてニックネーム等で氏名登録してあるケースについて報告がなされた。

先般の大阪ジャパンクラシックベンチ大会では、ドーピング検査対象者の身分証明書と選手台帳およびエントリー名が異なっており、本人確認の問題が生じた。これらの問題解決のため、選手等の登録は公的な身分証明書の表記で登録するように、氏名欄に注意書きを加えることが提案され、出席理事全員一致で承認された。なお、今後関連の規程類の見直しを行う。

(6) 次回理事会の開催日時は、平成31年5月11日、14時からJ国際学院で開催することとなった。

以上をもって議案が全て終了したので、佐々木健治代表理事が18時に閉会を宣言した。

上記の議事を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次のとおり記名押印する。

平成31年3月9日

公益社団法人 日本パワーリフティング協会理事会

代表理事 佐々木 健治 

監 事 安 原 徹 

